

平成 19 年度小笠原諸島世界自然遺産候補地科学委員会
外来種対策・自然再生部会（第 1 回会議）の開催結果について

- I 日時 平成 19 年 12 月 17 日（月） 15：00～17：50
- II 場所 新宿御苑インフォメーションセンター 2 階レクチャールーム
- III 議事 (1) 部会設置の背景と趣旨について
(2) 管理計画及びアクションプランについて
(3) 個別の検討事項について
- ① 各種の外来種対策事業の実施について
 - ② 新たな外来種侵入予防措置について
 - ③ 固有種及び希少種の情報整理について

IV 要旨

- 管理計画及びアクションプラン（以下「管理計画等」とする。）の策定に資するため、本部会では小笠原諸島の生態系保全（外来種対策、固有種保全など）の取組全般について、科学的見地から総合的な視点で検討を行うことを確認した。
- 管理計画等は、島毎の生態系を保全する観点から、管理目標の設定、取組の検討、情報整理を行っていくことで了承された。
- アクションプランは、管理計画における「島毎の生態系保全」、「新たな外来種進入予防」の項に対応して作成することで了承された。
- 外来種対策の実施状況等に関する事務局の報告を受けて、取組方等に関する助言が行われた。
- 議事全般の総括として、固有種・希少種対策のスピードアップと、事業実施後の適切なモニタリングの必要性、重要性が指摘された。